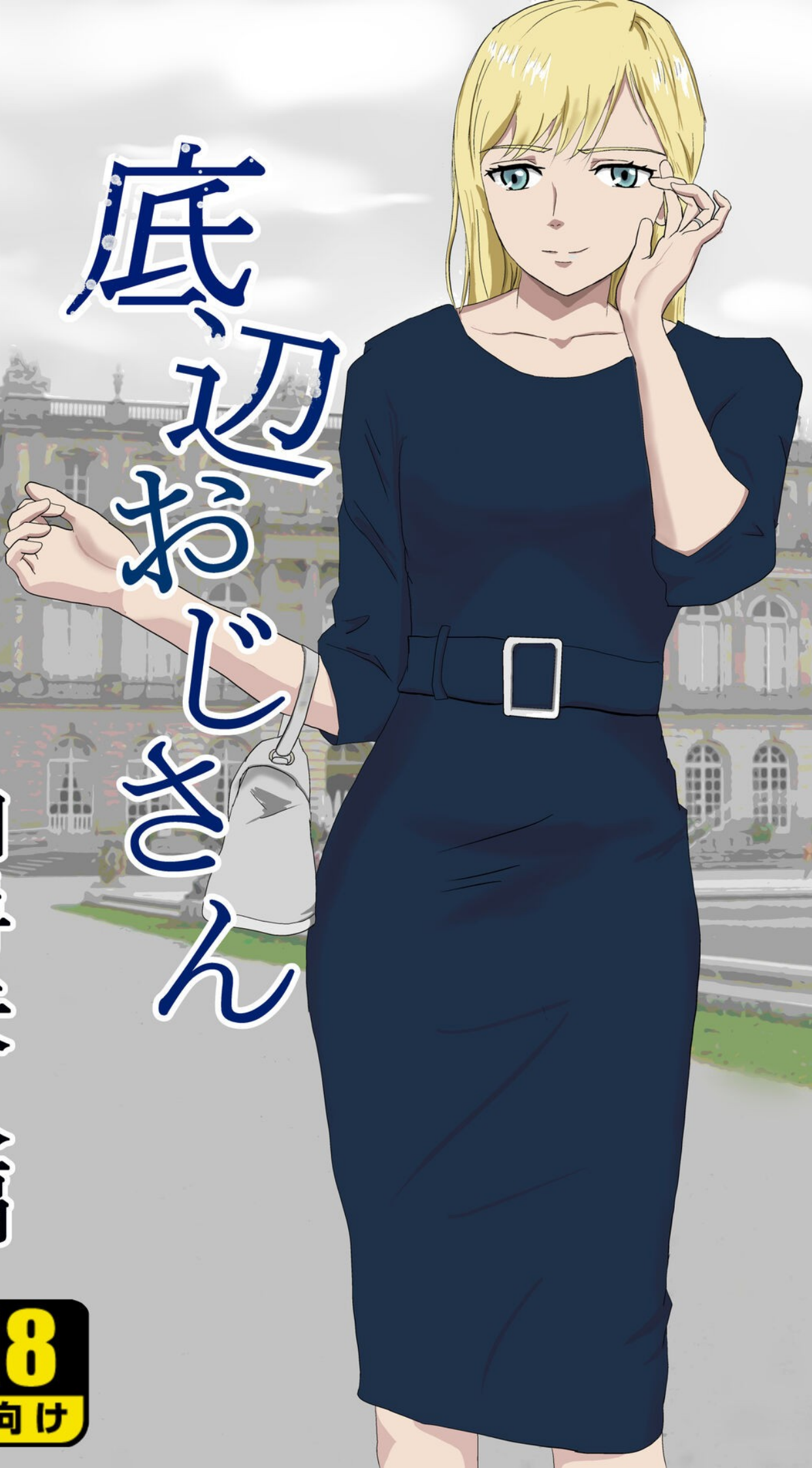


底辺おじさん

伯爵夫人編

R18

成人向け



イリス王国南部
中堅都市ダレン
アーベル伯爵家

それでは
行ってくる

いってらっしゃいませ
旦那様



しばらく
領地を離れる
ことになるが

留守の間は
よろしく頼むぞ

はっ！
お任せを

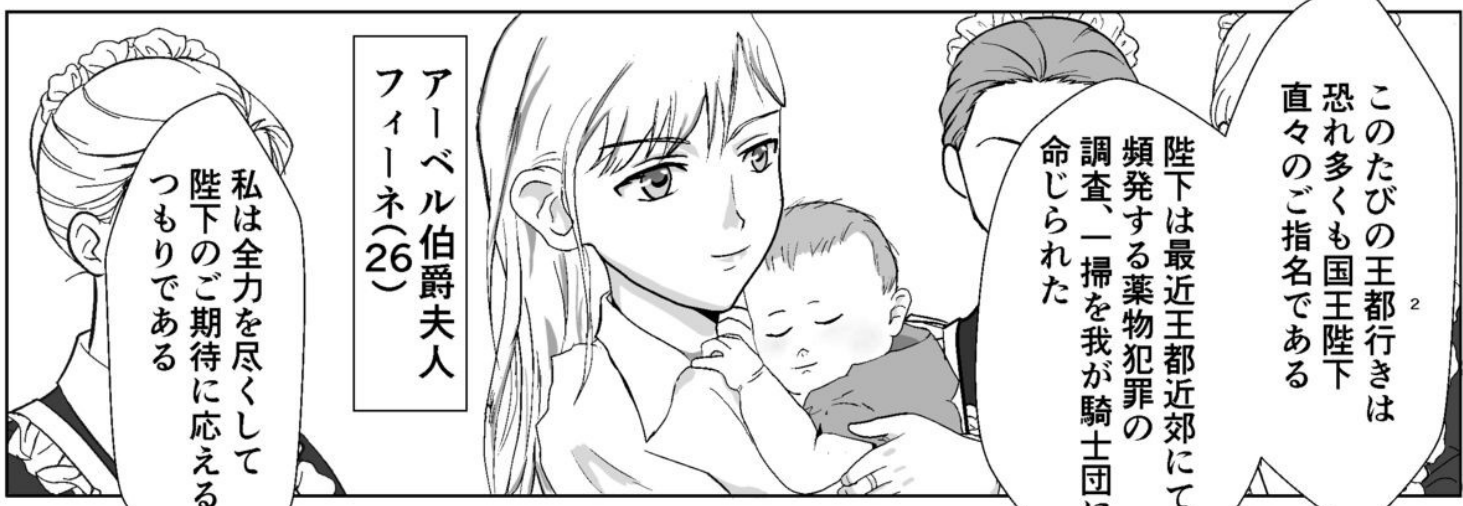


このたびの王都行きは
恐れ多くも国王陛下
直々のご指名である

陛下は最近王都近郊にて
頻発する薬物犯罪の
調査、一掃を我が騎士団に
命じられた

アーベル伯爵夫人
フィーネ(26)

私は全力を尽くして
陛下のご期待に応える
つもりである



父上……

おお
カールか

フィーネ
子供たちと領地を
よろしく頼むぞ

ええ
任せて

カール
私が留守の間は
お前が母と妹を
守ってくれよ

はい！

こちらの事は
心配しないで
存分にお務めを
果たして来てください

私は幸運な男だ
お前のような
聡明な妻を持って

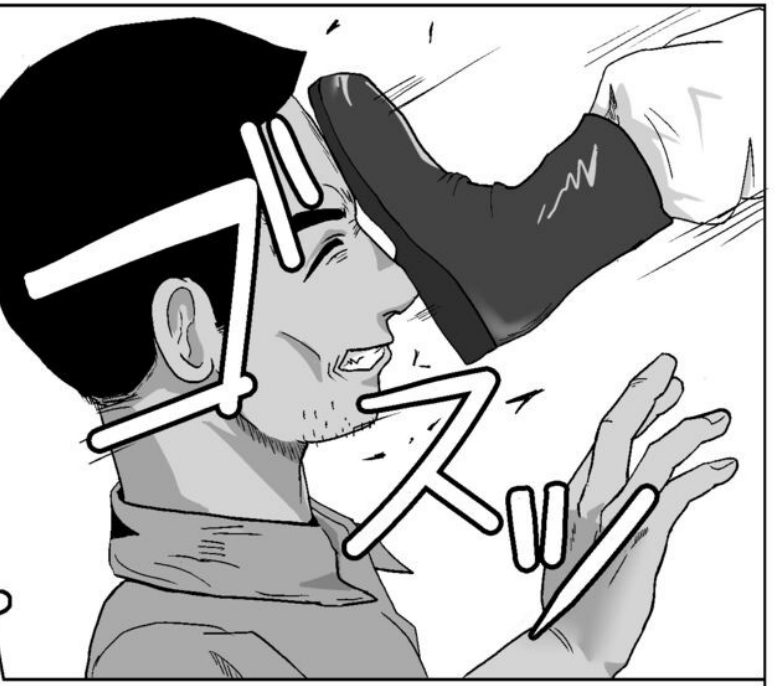
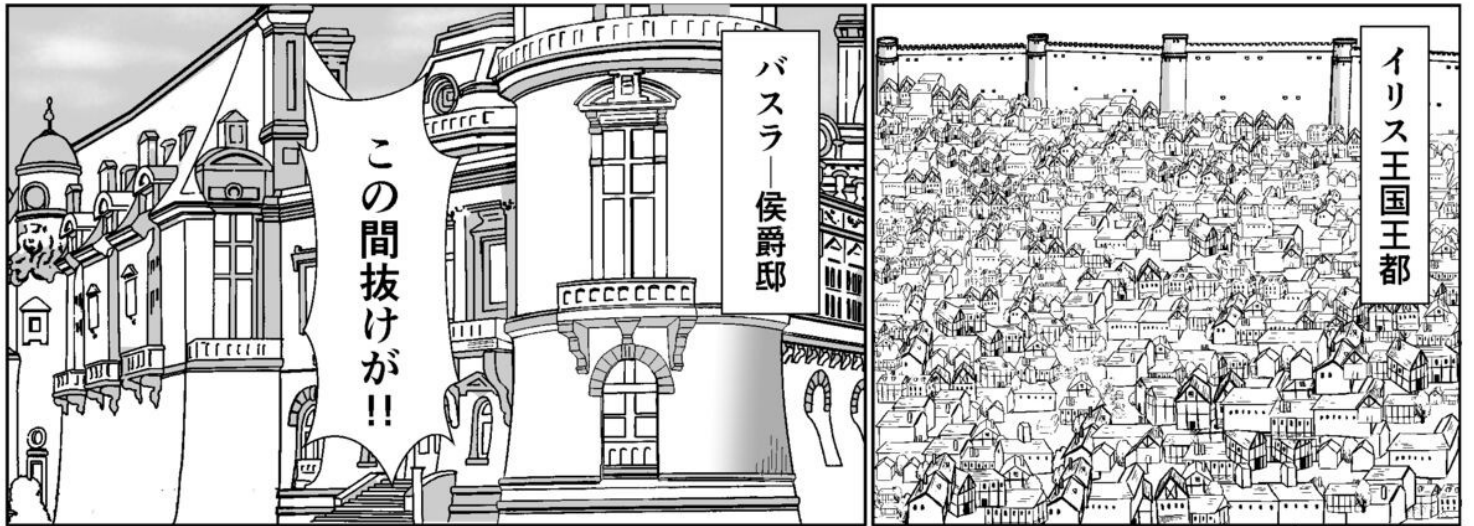
頼りにしてるぞ

行ってくる

お気をつけて……

ガタッ
ガタ

愛してるわ
あなた
どうかご無事で……



……しかし
違法薬物の販売量を
増やせと言ったのは
閣下ではありませんか

私はこれ以上増やせば
衛兵の目を誤魔化せない
と何度も申し上げた
はずです

ええい
言い訳をするでないわ
この無能が!!

お前が上手く
売りさばいておれば
何も問題は
起きなかったのだ

貧民街で
拾ってやった恩を
仇で返しおって
この下民が!

無茶言いやがって

国王と宰相の派閥争い?
宰相にゴマするために金があるだと?
そんなの知るかよ!

どうしてくれる!
これでは宰相様にあわせる
顔がないではないか

しかも陛下は此度の薬物売買
について首謀者を徹底的に
調査すると仰せだ
くそっ
厄介なことになったぞ

へっ ざまあねえや
……んん? よく考えたら
俺もやべえじゃねえか!?

チツ
面倒だが仕方ない

カチツ

お前はすぐ
ダレンへ行け

肩書は商人だ
身分証と紹介状は
用意してやる

ダレン……
アーベル伯爵が治める
南部の都市ですか?

そうだ
あの忌々しい
アーベルがな……

ふん、目ざわりな奴め
だが武勇に優れ、品行方正
貴族社会での評判は高い
陛下のお気に入りで
何かと重用されとる

陛下は
今回の薬物売買も
あの男に調査を
命じたようだ

侯爵たるこの私が
あんな男に
遅れをとるとは
思えんが...

念のためだ

お前はアーベル家に近づけ
そして奴を脅せる材料を
探してこい

貴族生命を
絶てるくらい
とびきりの醜聞を
見つけてくるんだ

...醜聞? しかし
アーベル伯爵に
そんなものが
見つかるとは...

本当にアホだな
貴様は...

無いなら
作ればよからう

そうだ!
あいつの屋敷に行つて
違法薬物をばら撒け

ひひひ
俺の罪を
なすりつけてやろう

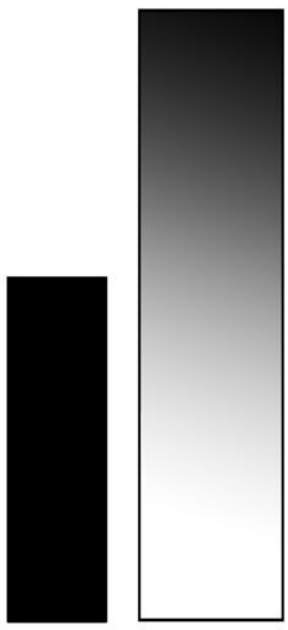
いいか
こんな簡単な仕事も
しくじるようなら
お前は飼犬失格だ
切り刻んで豚の餌に
してやるからな!



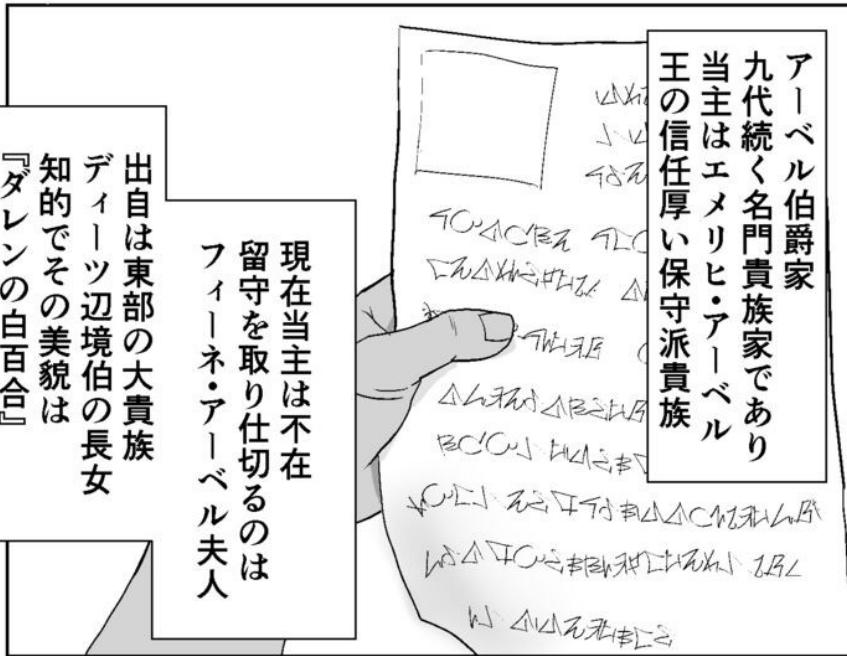
くそッ
馬車が故障して
時間食っちゃまったぞ
そろそろダレンが
見えてくる頃なんだがな

つくづく思うが
貴族ってのは
ロクな奴がいねえな

非合法薬物の次は
犯罪のでっちあげかよ



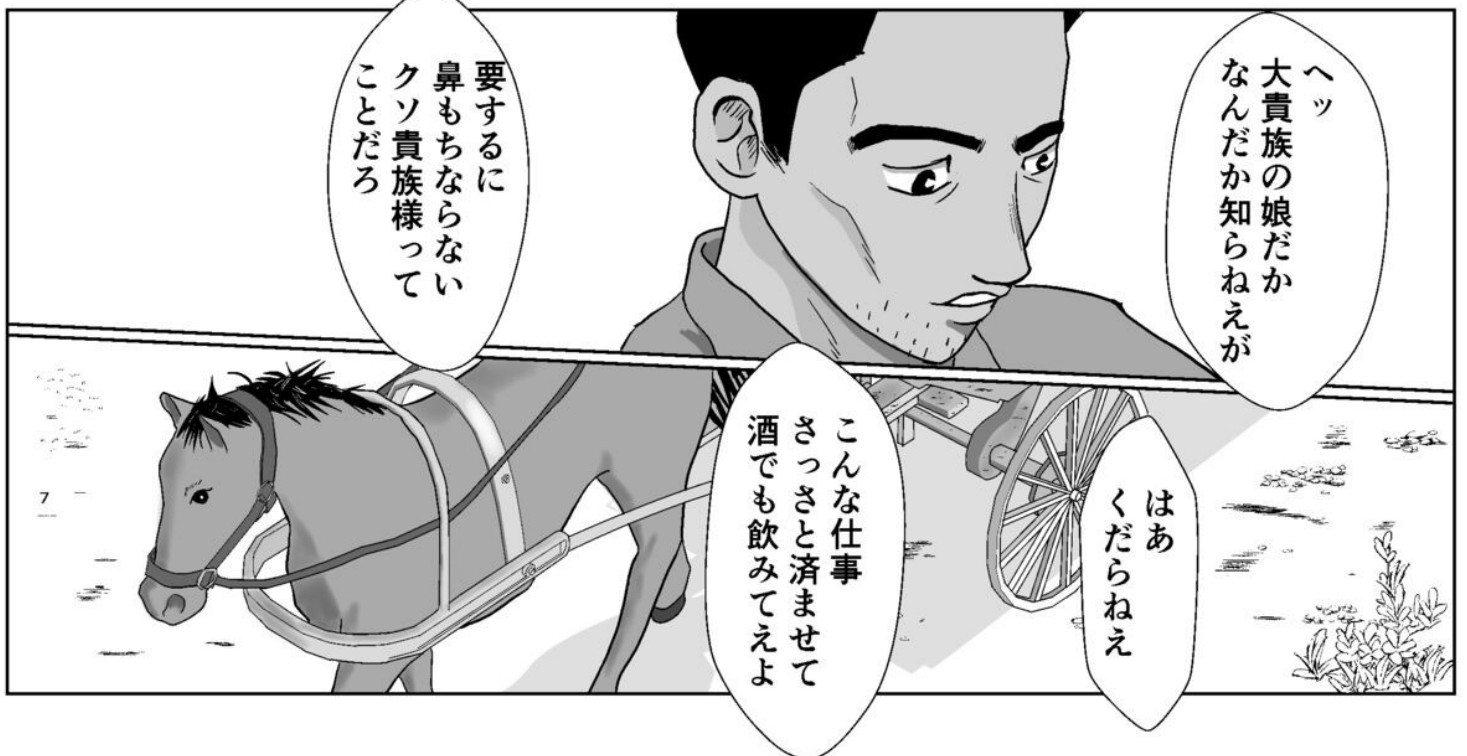
まったく
どれどれ



アーベル伯爵家
九代続く名門貴族家であり
当主はエメリヒ・アーベル
王の信任厚い保守派貴族

現在当主は不在
留守を取り仕切るのは
フィーネ・アーベル夫人

出自は東部の大貴族
ドイツ辺境伯の長女
知的でその美貌は
『ダレンの白百合』
と評される

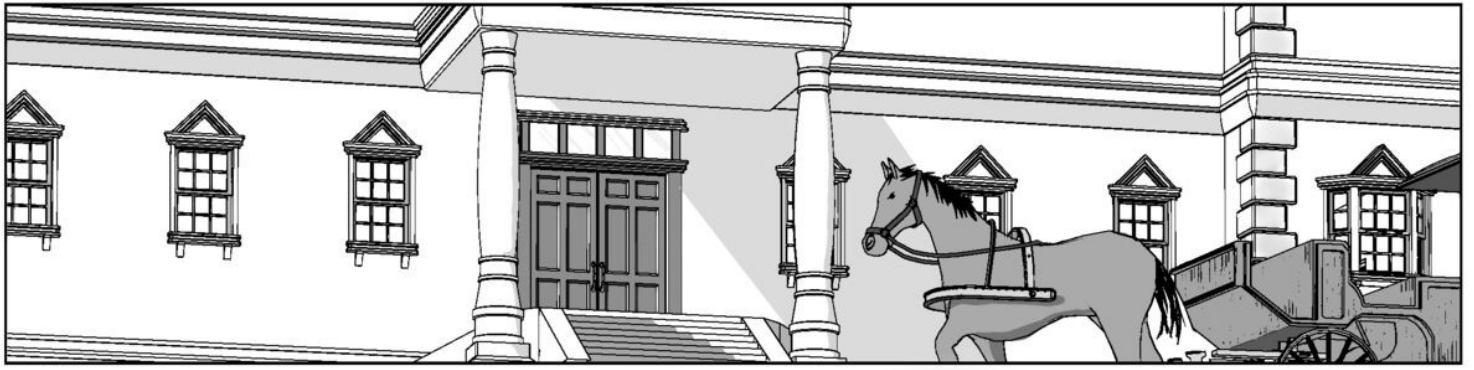


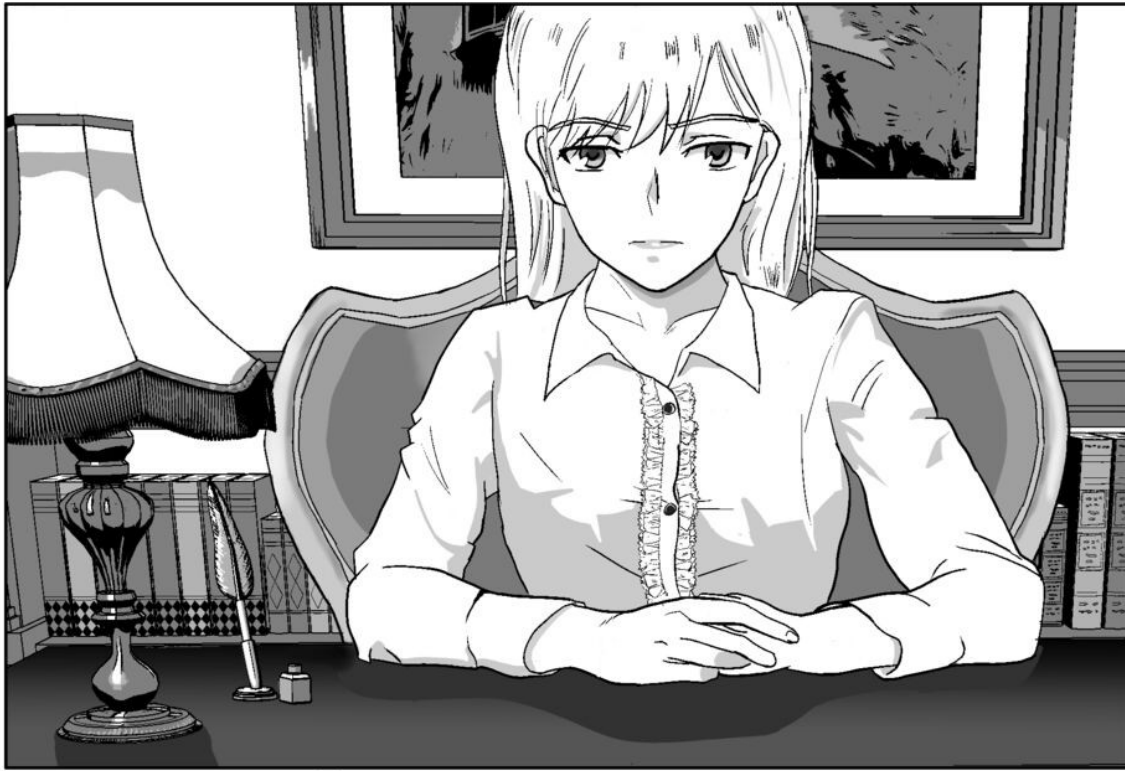
へッ
大貴族の娘だか
なんだか知らねえが

はあ
くだらねえ

こんな仕事
さっさと済ませて
酒でも飲ませてえよ

要するに
鼻もちならない
クソ貴族様って
ことだろ





今回は
例外です

本来であれば
あなたのような
一介の商人と会う
ために時間など
作りません



バスター侯爵の
紹介状によると

あなたは高価な
マジックアイテムを
扱う商人だそうですね

とてもそうは
見えませんが……



単刀直入に
言います

この街にやって来た
本当の目的を答えなさい

は、はて本当の目的とは……
私はマジックアイテムを
扱う商人でしかなく――

バスラー侯爵が
アーベル家に
良い感情を持って
いないことは
知っています

あの方は
お金と権力にしか
関心を持ちません
王都でも黒い噂の
絶えない人物

そのような人が
紹介まで書いて
いきなり商人を
よこすなど
不自然極まりない

何を企んでいるのか
さっさと話なさい

部屋の外には
衛兵がいますからね
逃げようなどと
思わないことです

くうう まだ悪事も働いて
ねえのに決めつけやがって
推定無罪だろうが

くっ
信用なさ過ぎだろ
バスラー侯爵

まさか
企むなどと……

平民が
貴族家を相手に
嘘偽りを申せば
ただでは
済みませんよ

やばい、やばいぞクソッ
挨拶ついでに隙をみて！
違法薬物をばら撒くつもりが
これじゃできねえ

なぜ黙っているの？

それどころか
これだけ警戒されたら
今後は屋敷に近づけない
可能性が高い

失敗したら
今度こそバスラー侯爵に
細切れにされちまうってのに……

ふう
時間の無駄みたいね

手荒なことはしたくないけど
仕方ありません
衛兵の詰所で厳しい取り調べ
を受けてもらいましょう

どうする？
どうするよ俺
……ダメだ何も思い浮かばん



なんだよコレ…

なんで俺ばっか
こんな目に遭わなきゃ
なんねえんだよ



どいつもこいつも
好き勝手に言いやがって



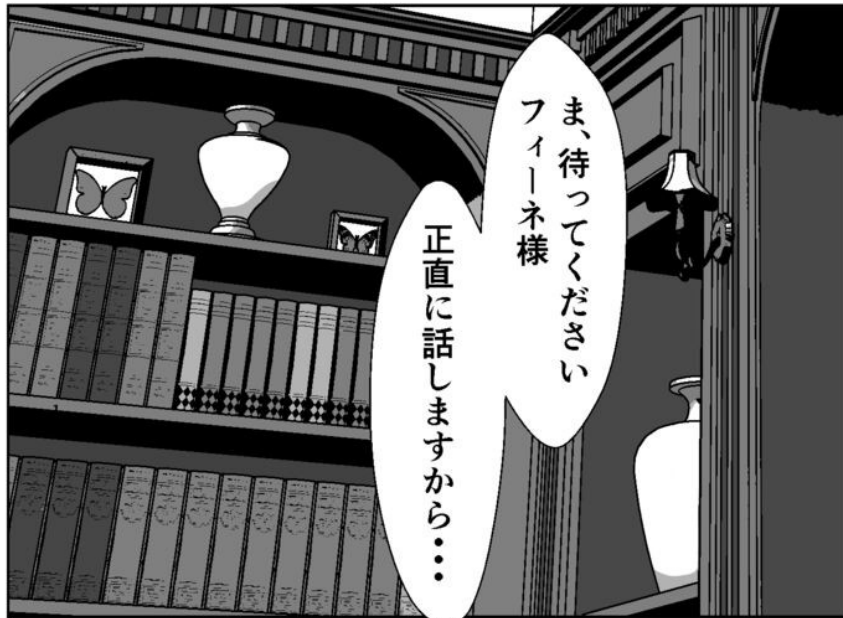
余裕かました顔が
気に入らねえ

平民は虫みてえに
這いつくばって
抵抗しないのが当然で
面しやがって



貴族に手を出したら
極刑だぞ！

バカ野郎!!
何考えてんだ俺！



正直に話しますから…

ま、待ってください
フィーネ様



どく どん



私はこれを使って
アーベル家の醜聞を
握るよう
命じられました

そうです

映像を記憶させる
マジックアイテム……?



それは……



まずは
これを
ご覧ください

コツ



想像以上に
程度が低くて
驚いたわ

何か企んでるとは
思ったけど……



命じたのは
バスラー侯爵

私は断ることが
できず……



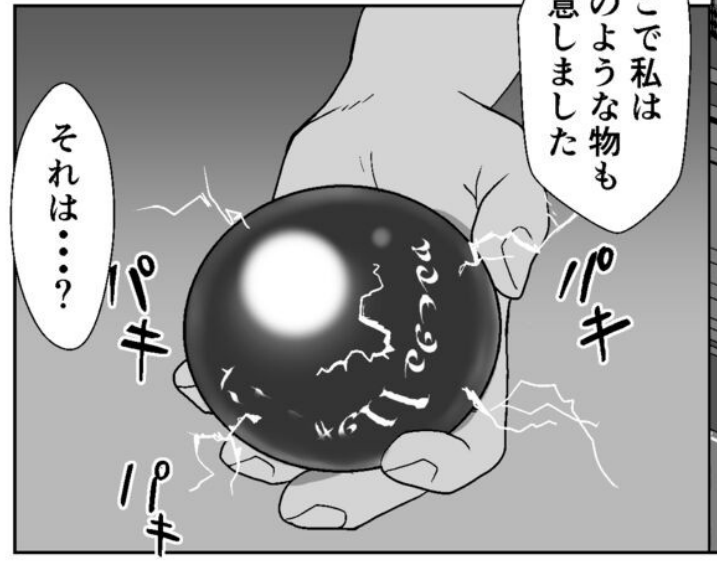
おっしゃる通りで
ございます

そこで私は
このような物も
用意しました



高潔を重んじる
アーベル家に醜聞など
あろうはずがないのに

侯爵はなんて
愚かなのかしら



それは……?

ピキ

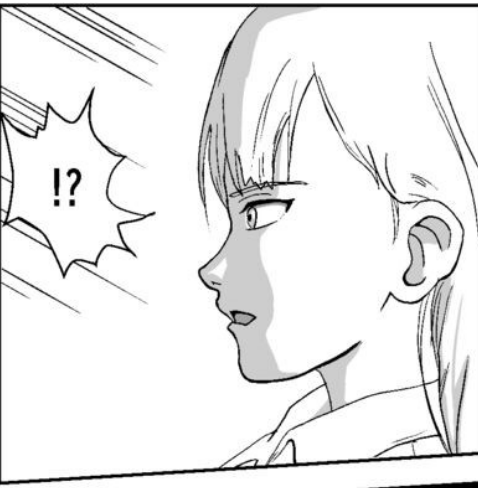
ピキ

ピキ

ああ
ご存じありませんか

まあ
あまり一般的ではない
というか
この国では禁制品の
マジックアイテム
ですからね

ガッ



!?

遮音性を高める
アイテム

今 作動させました
これからしばらくは
この室内が完全防音の
領域に変化します

拷問とか
変態行為とか
色々悪い事にも
使えるから
便利なんですよね
コレ

しかも防音してても
外からの音は
ちゃんと
聞こえるんですよ
不思議でしょ



衛兵!!

ガタン

無駄ですよ





きゃあッ

ガ
ミ
ヤ
ッ



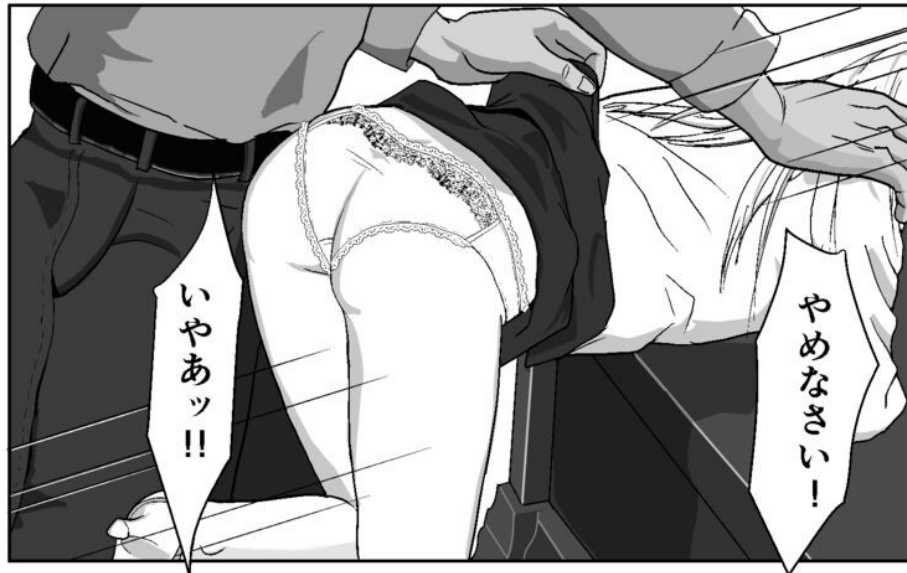
お前だけじゃなく
家族にも厳しい処罰が

お前のような者が
私に手を出せば
処刑は免れないわよ!



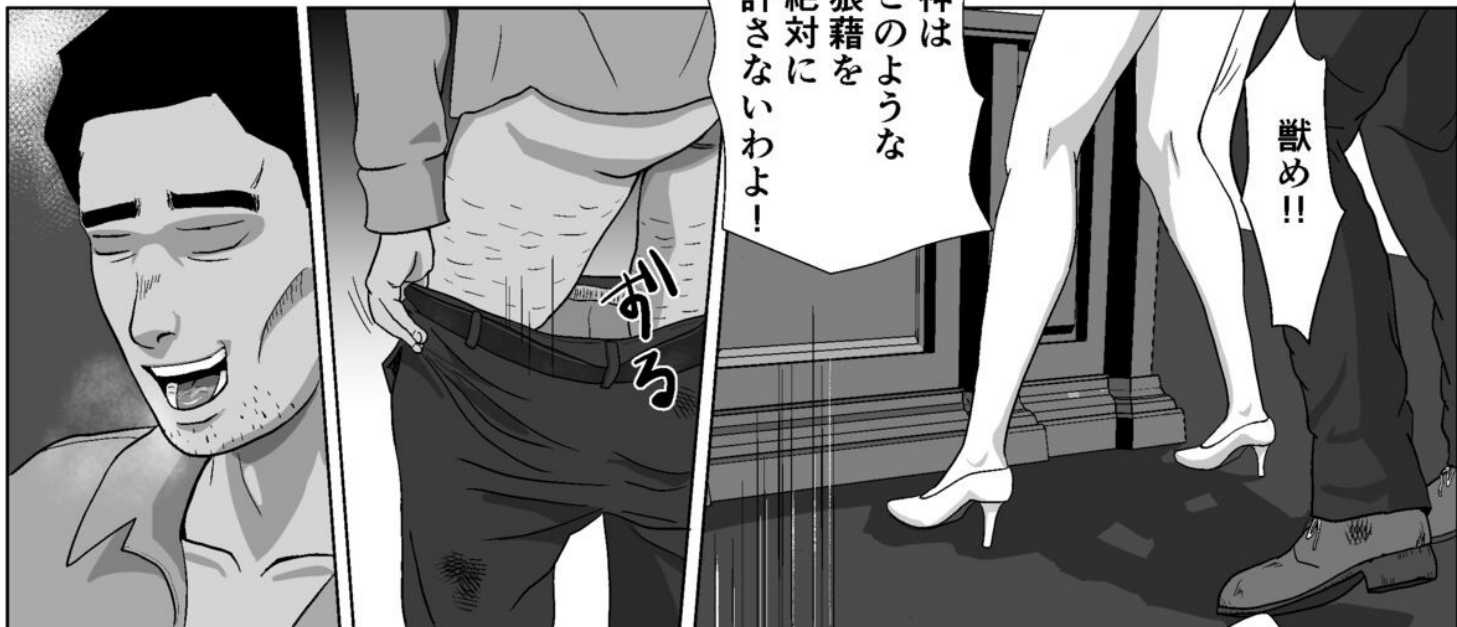
自分が何をしているか
わかってるの!!

無礼者!



いやあッ!!

やめなさい!



神は
このような
狼藉を
絶対に
許さないわよ!

獣め!!

ずろ
ずろ



アンタさあ
東の辺境伯の
ご令嬢様なんだってな

離れなさい!
汚らわしい!

ずい
ずい

ぐっ



放しなさい!!

放して!

いやッ



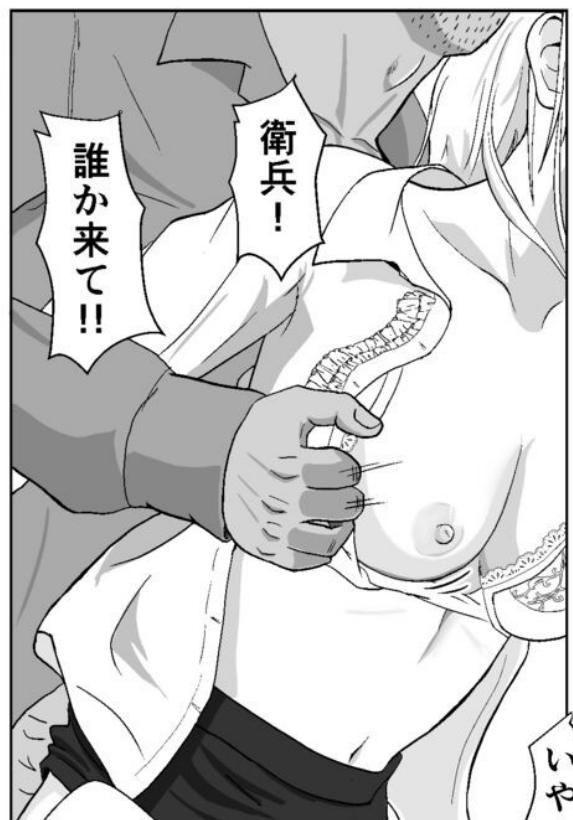
ひッ

グキ
グキ
グキ



平民風情が
このような...

か、覚悟しなさい...



誰か来て!!

衛兵!

いやッ



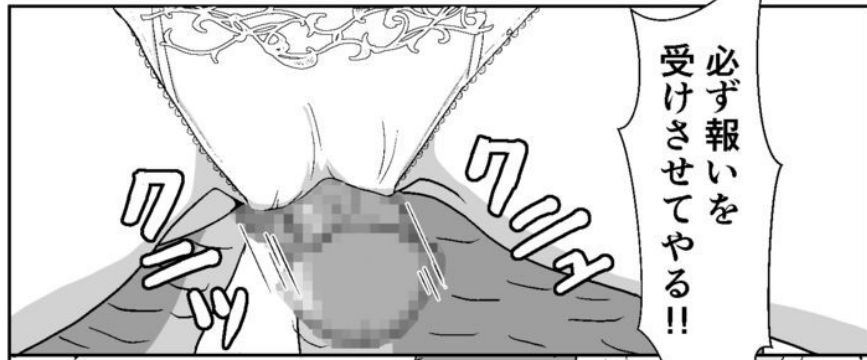
死より重い罰を
受けるがいいわ!!



貴族のご夫人様が
ジタバタすんじゃ
ねえよ

おいおい
はしたねえな

うぐっ



必ず報いを
受けさせてやる!!



絶対に!





平民ですらない
ゴミ野郎だよ

俺は鉾山を
脱走した
犯罪奴隷だ



そういや
言ってなかったな

はっ
はっ
ああ……



ひッ!?

グイ

何の因果か
バスター侯爵の
捨て駒として
飼われるよう
になったわけよ

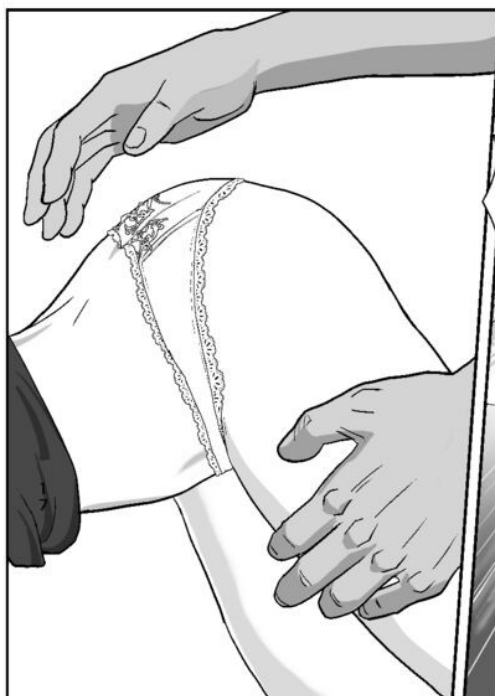
貧民街に
潜伏してたら
流民狩りで
捕まっちゃってな



……え?



犯罪……奴隷……?



誰か
助けてえ!!



誰かッ!



いやあッ
触らないで!!

あし



ツ
あ
あ
っ
っ
!!

ツ
ツ
ツ
ツ
ツ



そん
な
嘘

あ
奴隷に
あ



ガキ二人も
こさえてりや
期待も
してなかったが

はっ



あなた

ツ
ツ



なんだよ

はっ

はあッ



ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

なかなかの
締めじゃねえかよお！

ひあっツ！！



ガ
ツ

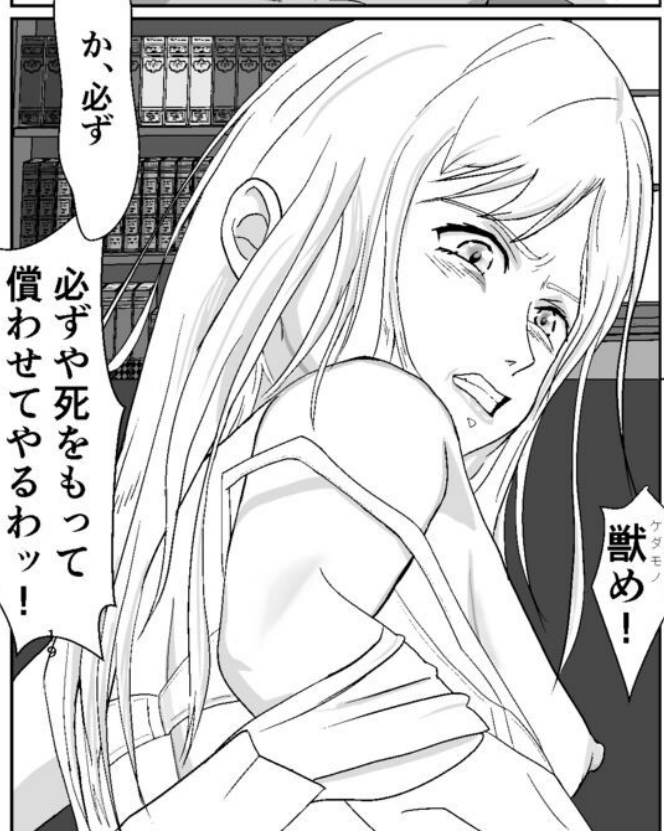


おらッ
奥まで突っ込まれた
奴隷チ○ポの味はどうだ！

痛ッ

やめッ

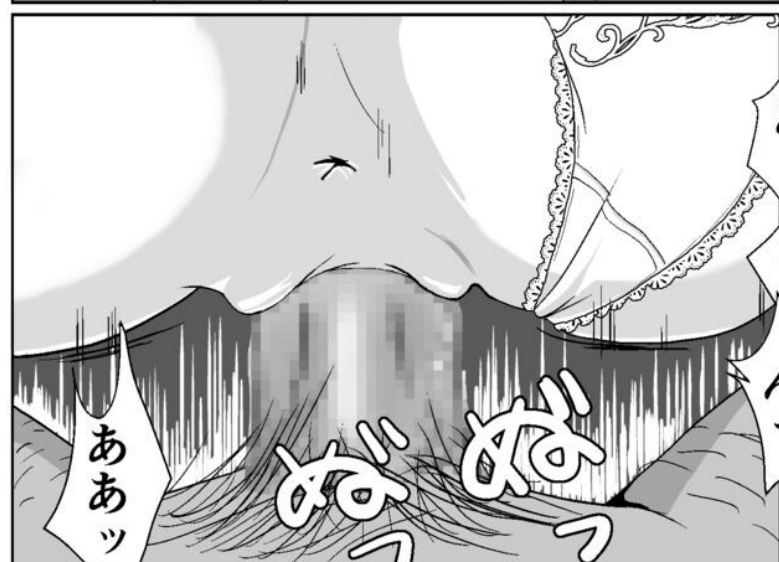
ッ
グ



か、必ず

必ずや死をもつて
償わせてやるわッ！

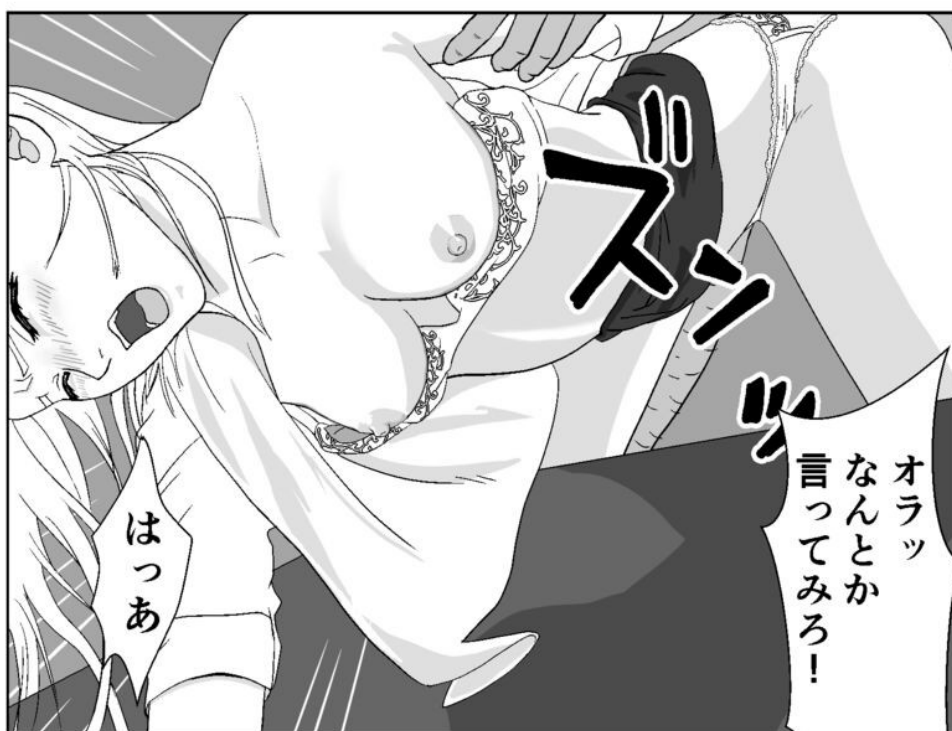
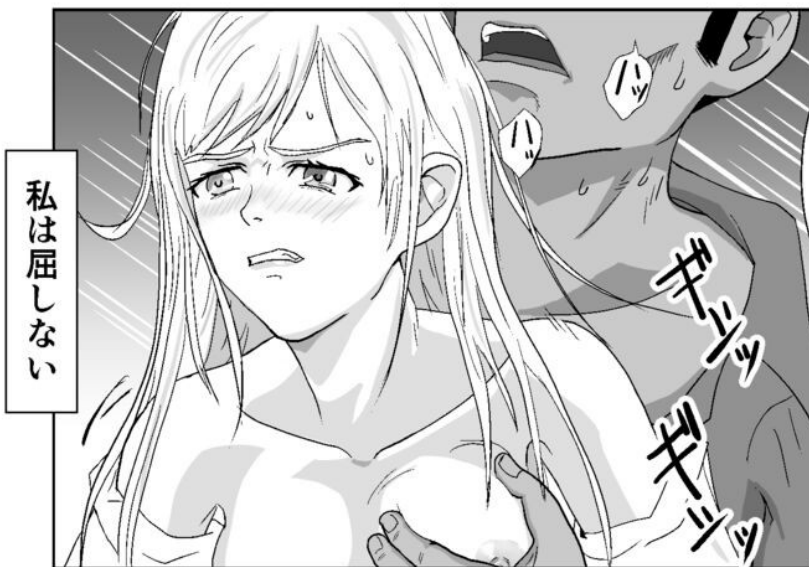
獣め！



あッ
あッ
んッ

ぬ
ッ
ぬ
ッ

ああッ



おらッ
どうだ高慢女!!

ドチュッ
ドチュッ

はッ

はッ

ドチュッ

かはあッッ

ひひ
奥をどつかれるのは
慣れてねえみたいだなあ

苦しいか?
泣いて懇願するなら
止めてやるぜ

うぐ……

この下郎……ッ

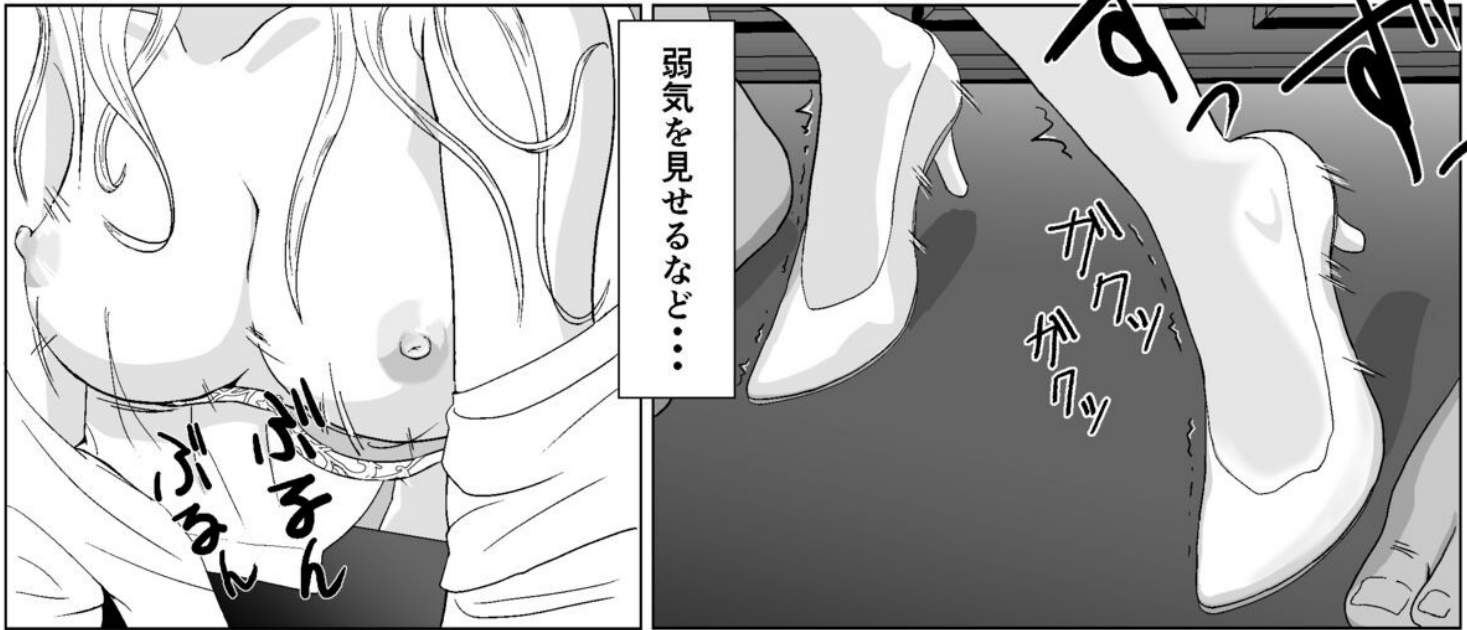
陛下も一目置く
ダイーツ辺境伯家に
生まれ

高潔にして誉れ高き
エメリヒ・アーベル
の伴侶である
この私が

下劣な犯罪奴隷
ごときに!

っんん!?

グッ
グッ
グッ



弱気を見せるなど...



絶対に...



あーやべ
もう出ちまいそうだ



ぶるん



ぐっぐっ

がッ



待っ

いあッ

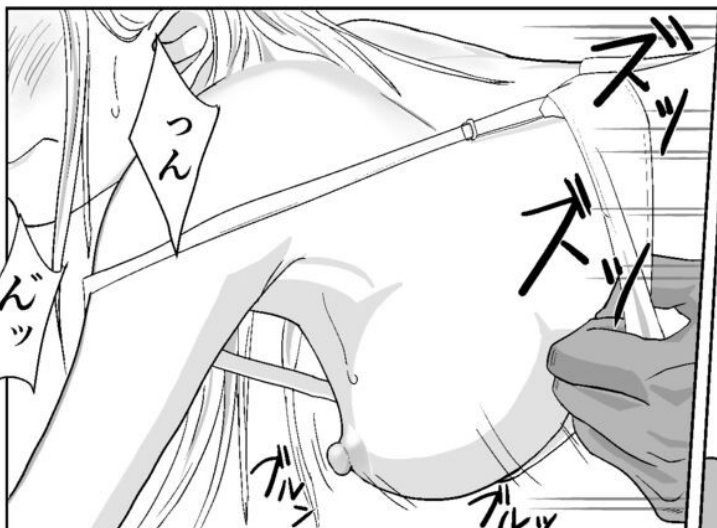
やめなさいッ!!

それだけは嫌よっ!!

取り返しのつかない事に

ふッッ

ガッ
ガッ



っん

ズッ
ズッ

んッ

グッ

グッ



お前のような汚らわしい者となんて

ヤッ
ほッ

すほッ
すほッ

くッッ



いやッ!

いやああッ

お願いだから

駄目!!



待ちなさいっ!

ガッ
ガッ

待って!!

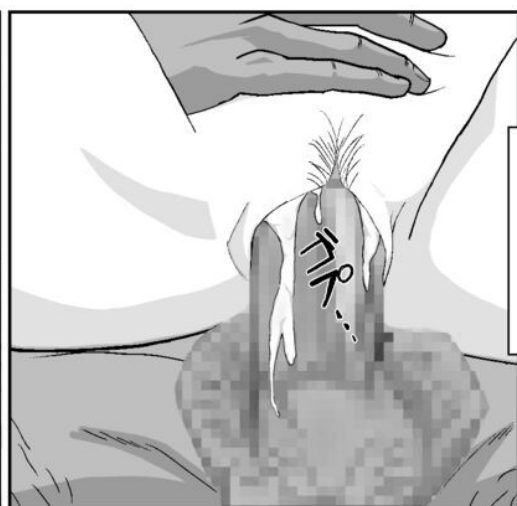
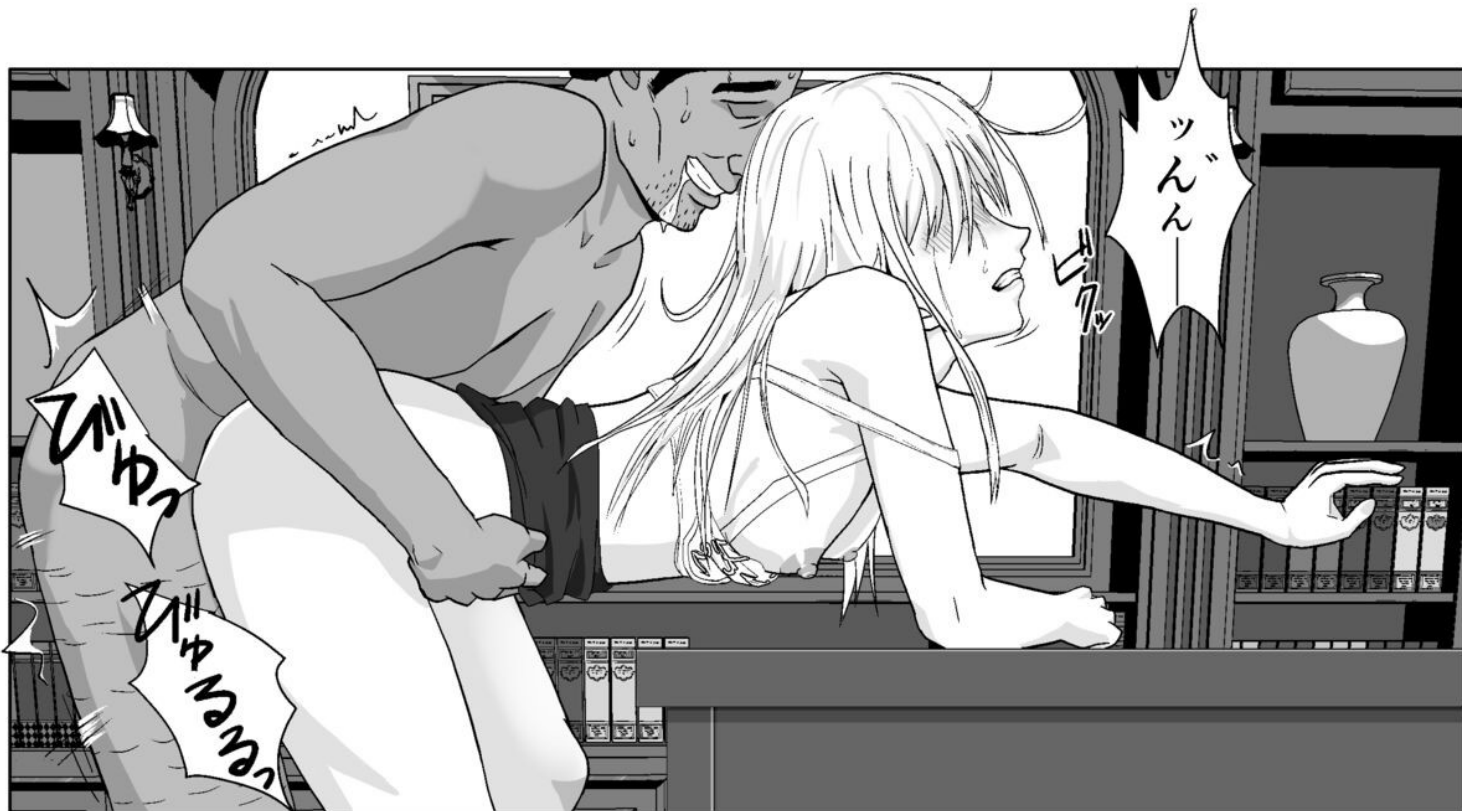
まッ



おっ...お

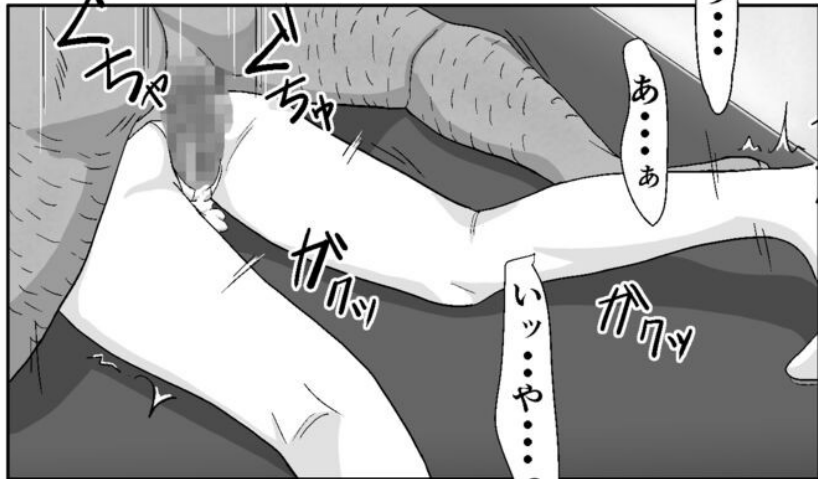
ひッ

ぐ
ぐ
ぐ





ギヤッ...



ぐちゃ

ぐちゃ

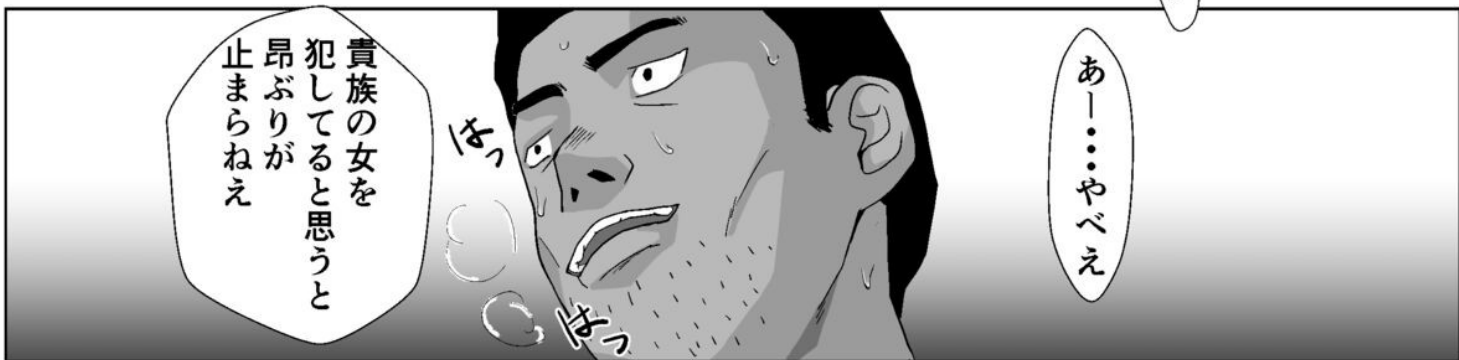
ガッ

ガッ

いッ...や...つ

あ...あ

う...



貴族の女を
犯してると思うと
昂ぶりが
止まらねえ

はっ

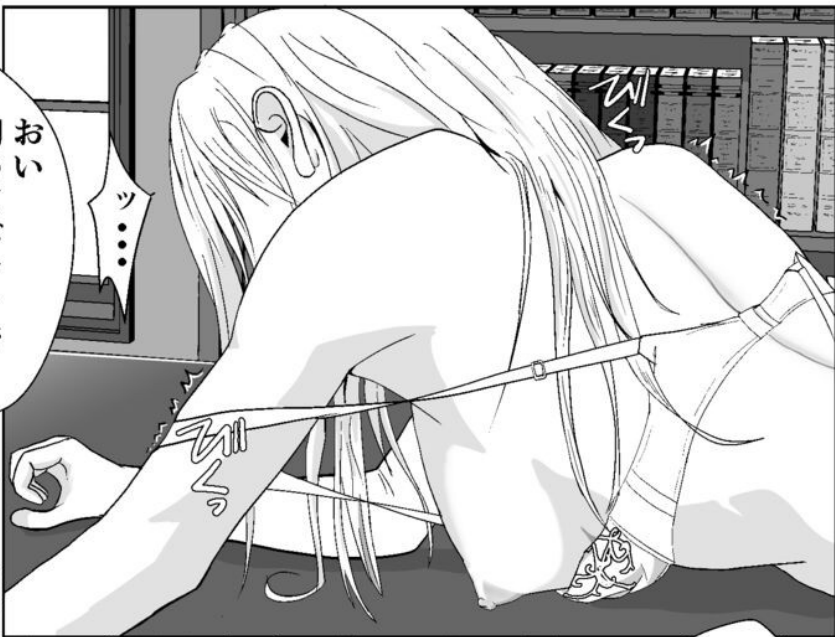
はっ

あ...やべえ

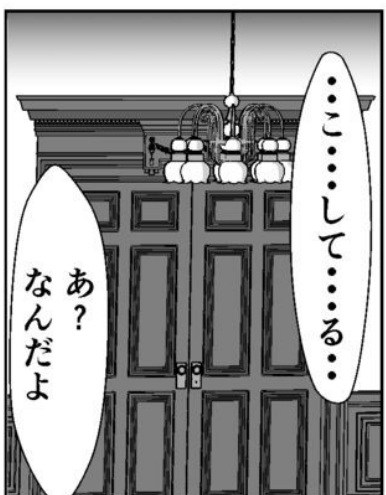


下々の実態を知る
良い勉強に
なっただろ？

おい
初めてバックで
やった感想は
どうだ

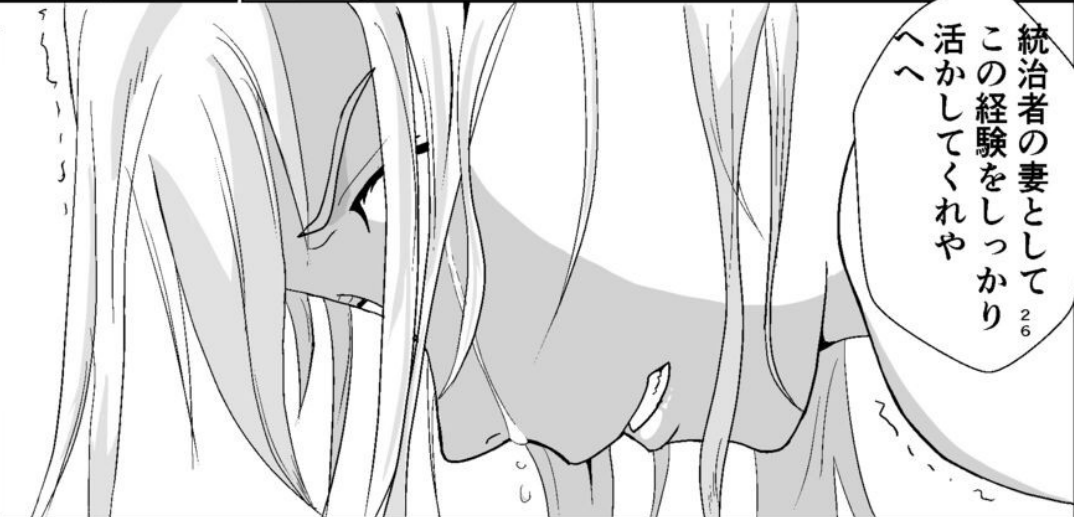


ッ...



あ？
なんだよ

...こ...して...る...



統治者の妻として
この経験をしっかりと
活かしてくれや
へへ



グッ
グッ
うっく!?



殺してやる!

私の持つ
全てを使って

お前の存在を
必ず抹殺してやるわ!



だいたい
チ○ポ突っ込まれた女が
妻んでもエロいだけ
だっつーの



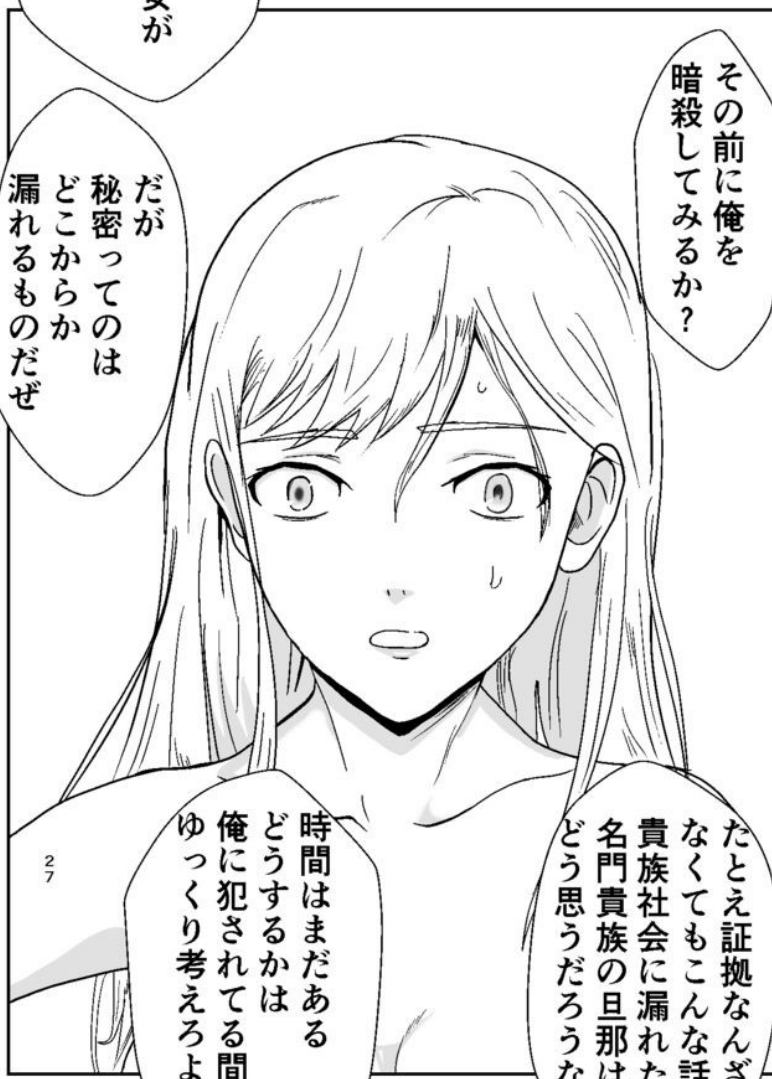
確かにお前には
俺を消す力が
あるだろうさ

だが俺だって
タダじゃやられねえ

お前が奴隷の俺に
犯された様子は
ばっちり記録してる
からな

騒げば
この映像は
バスター侯爵に
渡す

っ!?



その前に俺を
暗殺してみるか?

だが
秘密ってのは
どこからか
漏れるものだけ

たとえ証拠なんざ
なくてもこんな話が
貴族社会に漏れたら
名門貴族の旦那は
どう思うだろうな

時間はまだある
どうするかは
俺に犯されてる間に
ゆっくり考えろよ



ねえねえ
母上はどこに
いるか知ってる？

奥様でしたら
執務室で商人と
面会なさってますよ
カール様

なんでも
バスラー侯爵様の
紹介でやってきた
商人だとか

お仕事なら
しかたないね

そうなんだ……

乗馬訓練の
成果を見てもらおう
と思ったのに……



……妙だな



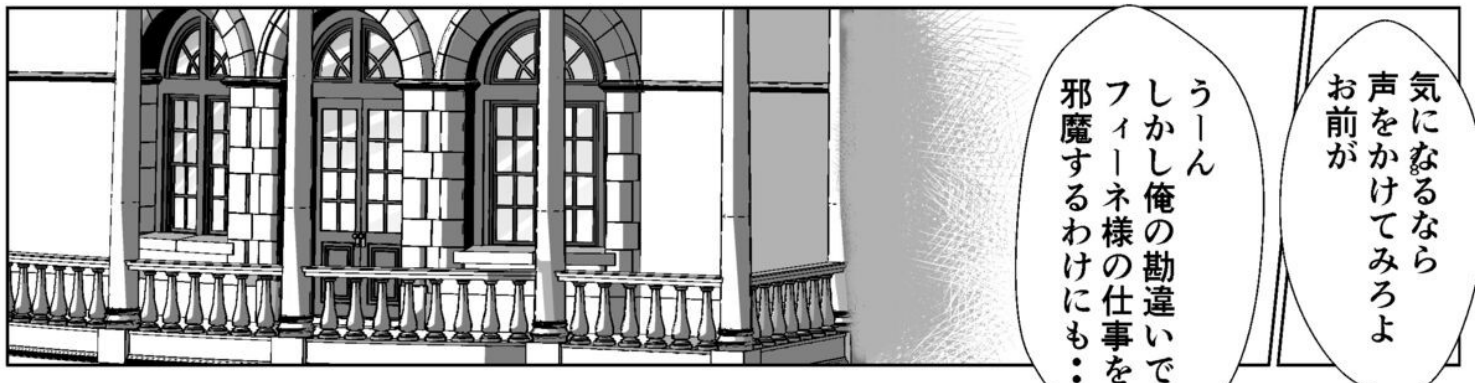
何が？

執務室の様子
静か過ぎると
思わないか？

そうか？
いつもと
変わらんと
思うがな

何かあれば
フィーネ様は
俺たちを
お呼びになると
思うし

……そうだよな
俺の考え過ぎ
か……



気になるなら
声をかけてみるよ
お前が

うーん
しかし俺の勘違いで
フィーネ様の仕事を
邪魔するわけにも……



へっ
膣を締めて
拒んでる
つもりか？

精液まみれじゃ
ズルズル滑って
無駄な抵抗に
なってるぜ



なあ
どんな気分だ？

尻穴丸見えに
股を広げて
奴隷に好き放題
ズボズボされる
気分はよお

むに



そういう所が
お前が奴隷たる
所以なのよ

なんだと
コラアツ!!



…下等な男

婦女子を
力づくで犯し
あまつさえ
それを脅迫材料に
使っておいて
随分偉そうね



ファイネ様
いかが
なさいましたか？



チツ
アイテムの
効果が切れ
やがったか...



ファイネ様!!

大きな音が
聞こえましたが
何事でしょうか！



ファイネ様
お返事を！

ドアを開けますよ
よろしいですね！

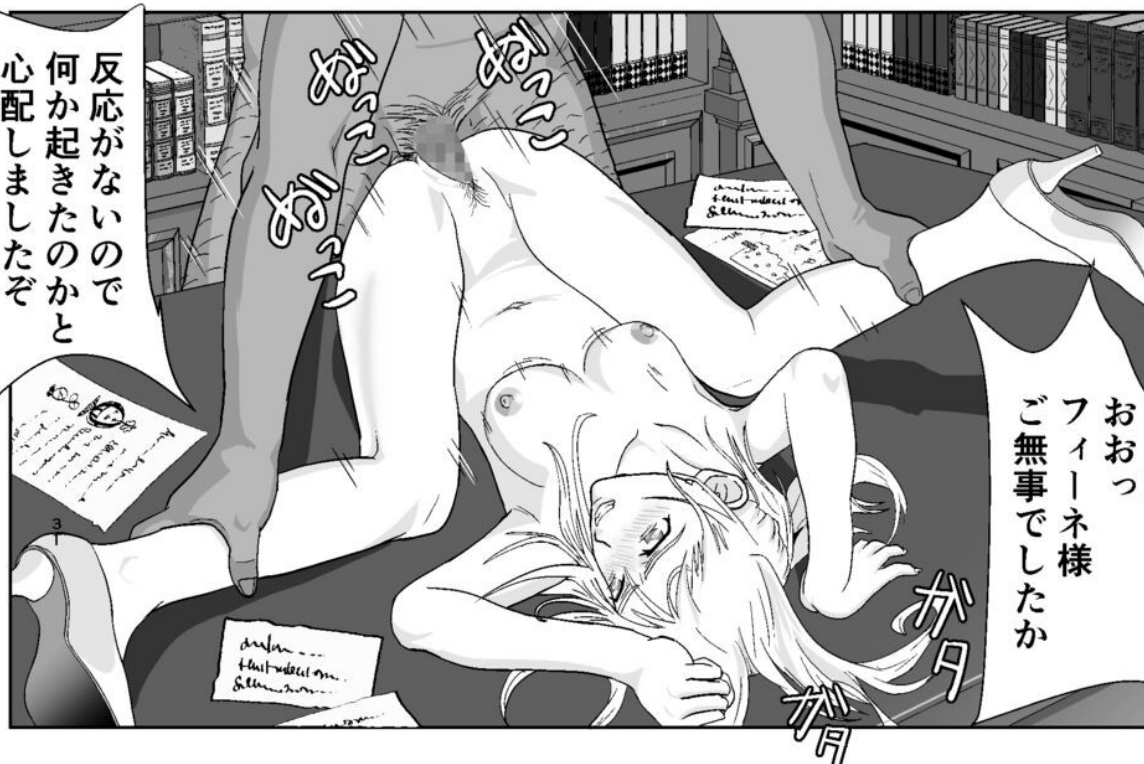


助けを
求めても
いいぜ

この有様を
連中に見られても
構わないならな
ひひひ



おい
適当に誤魔化して
追いつせ



反応がないので
何か起きたのかと
心配しましたぞ



・・・やめなさい
何ですか
騒々しい

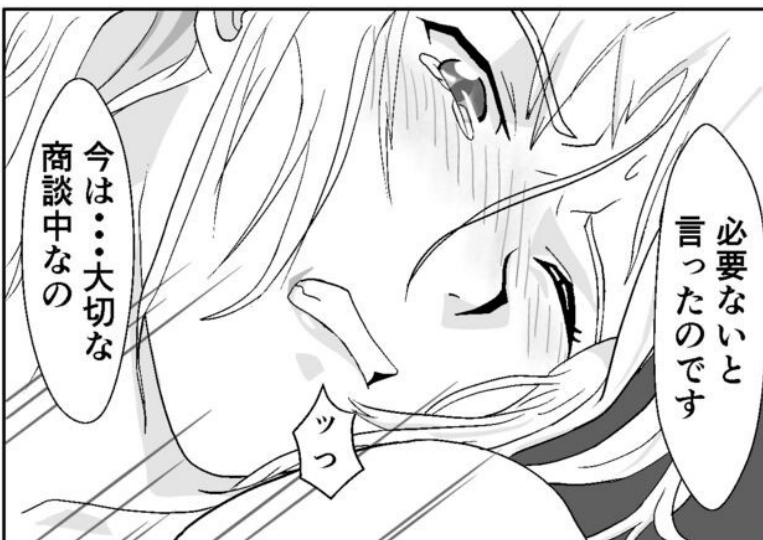
おおっ
ファイネ様
ご無事でしたか



ひ、必要
ッ…ありません

執務室の気配に
不自然を感じております
フィーネ様の警護に
携わる者として
一度室内を確認させて
いただけませんか？

仕事中に
お声がけして
申し訳ありません



今は…大切な
商談中なの

必要ないと
言ったのです



…フィーネ様？

っは



何も問題は
ありませんからッ



邪魔をしないで…

ガクッ

ぢゅっ

はっ
も、申し訳ありません
出過ぎた真似をしました！

アーベル伯爵様より
留守の間はくれぐれも
妻のフィーネ様を頼む
と念を押されていましたので
つい過剰に警戒し
勘違いしてしまったようです

失礼いたしました！

ガクッ
ガク

つッ

男は苦痛に耐え
声を押し殺す私を
嘲笑うかのように
執拗に奥を
突き上げてくる

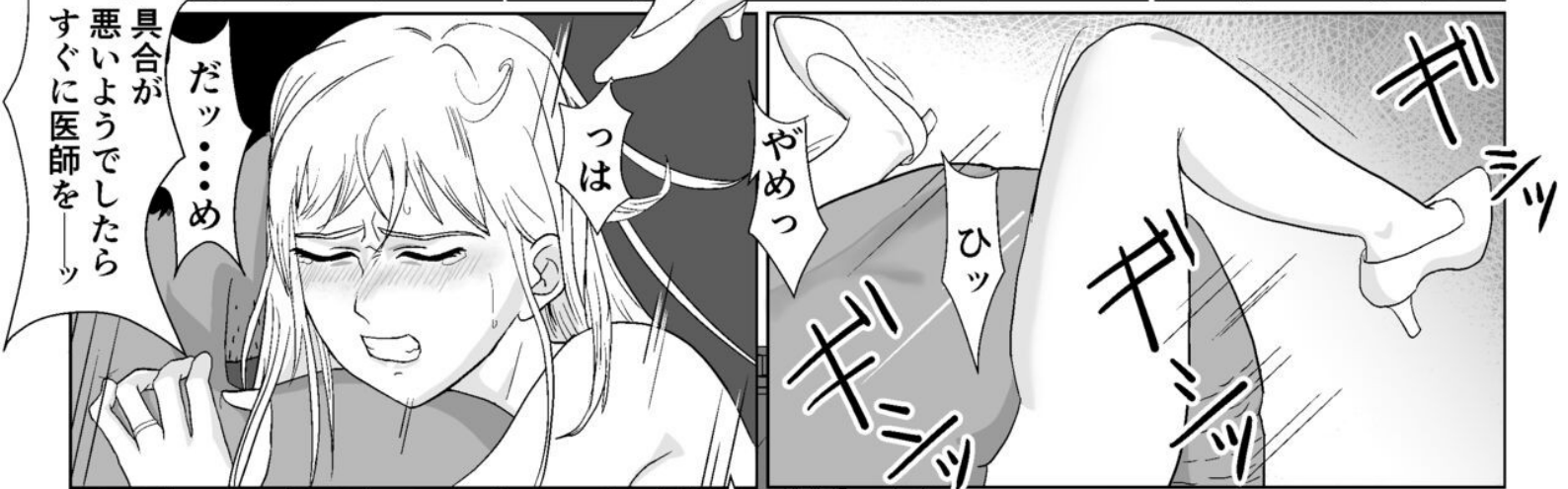
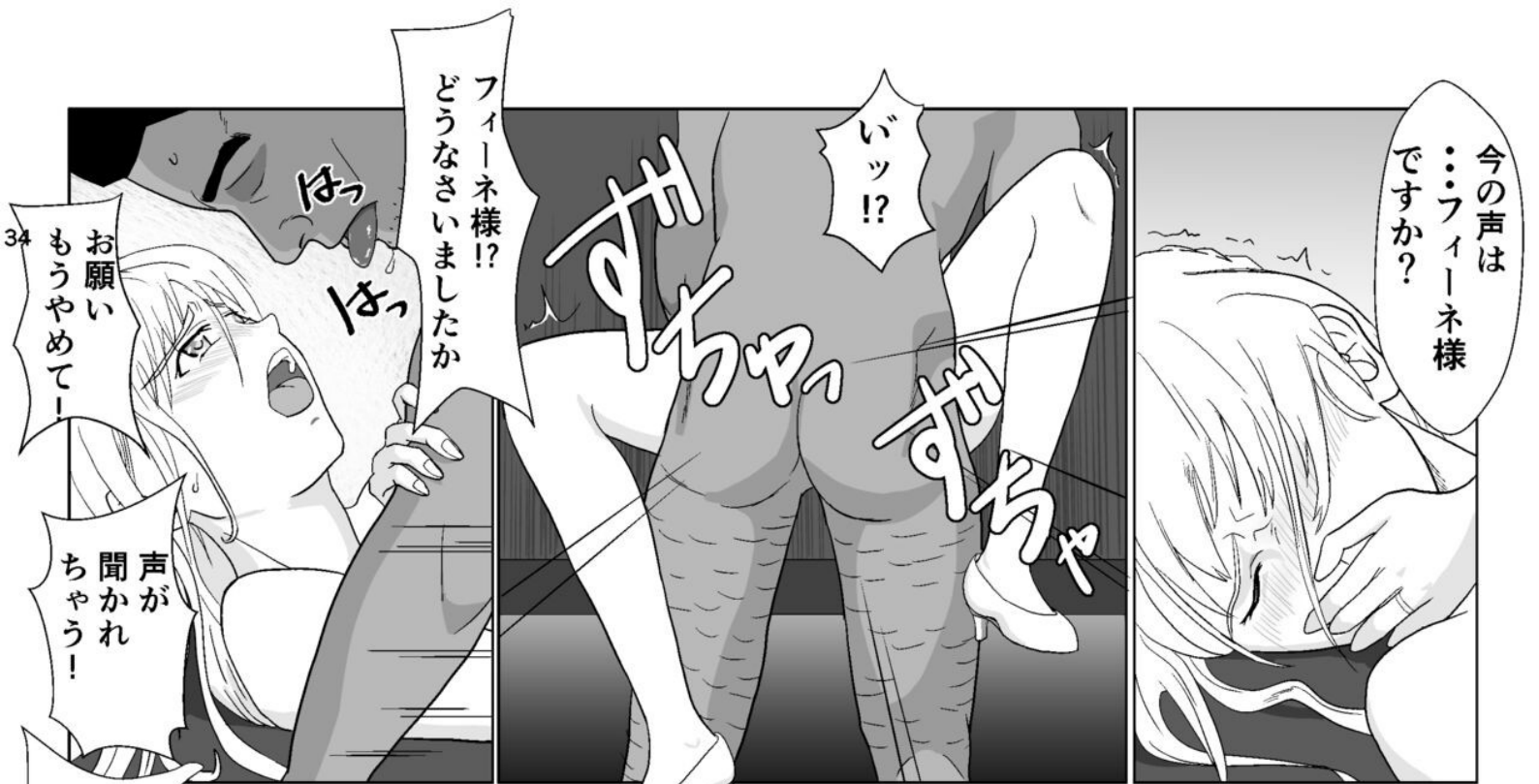
漏れた精液が
互いの股間を濡らし
不快な音を響かせる

ずぬぬ

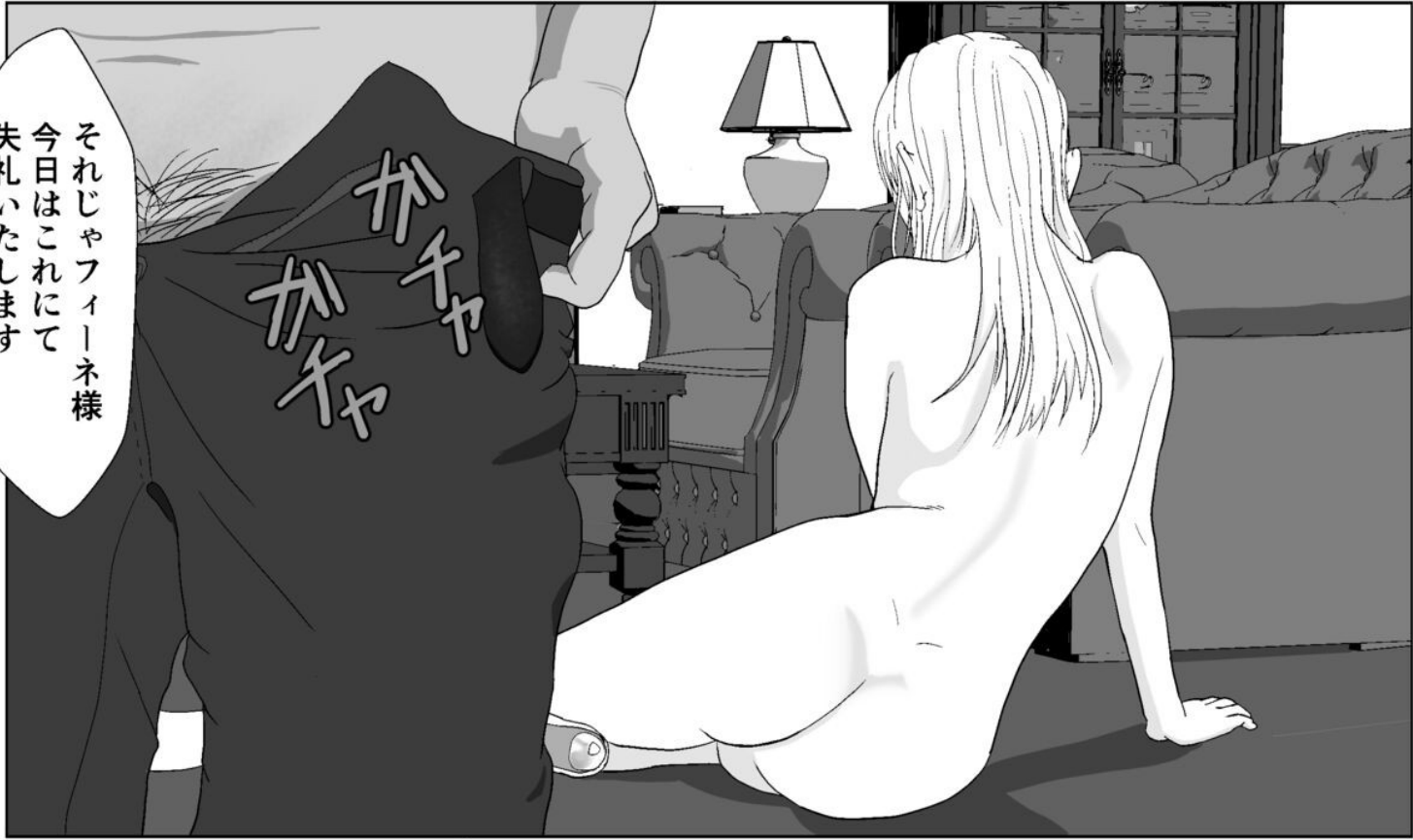
ばちゃん

あぐツ

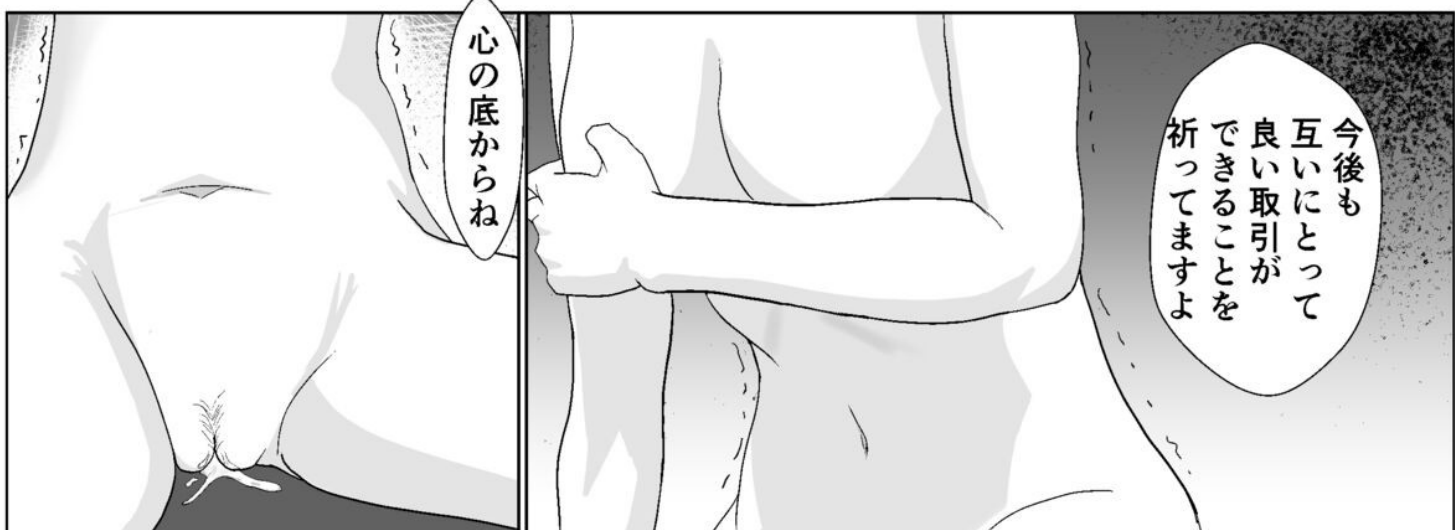








それじゃフィーネ様
今日はこれにて
失礼いたします



心の底からね

今後も
互いにとって
良い取引が
できることを
祈りますよ



それじゃ
またな
伯爵夫人様



二度と私の前に現れないで……

お買い上げありがとうございます³⁷ ます

今回はファンタジーな設定で描いてみました
高貴な人とか盗賊とか女騎士とか色々描いてみたいキャラがある
ので今後はこのシリーズに登場させようかなと思ってます

ファンタジーな設定だったら時間停止物も描けそうですね
あれ好きなんですよ
でも自分の場合は時間停止中に動かないように我慢してる
女優さんの表情にエロスを感じるので漫画で表現するのは難しいかしら

次作は今作の続きを描く予定です。子を持つ人妻設定のヒロイン、
まだ色々描いて見たいエロがあるので

それでは

2021.9 紀山ハル